

第 2 3 6 号

連 携 室 だ よ り



公益財団法人
北海道医療団

帯広第一病院



帯広第一病院理念・基本方針

【理 念】

地域に信頼される病院を目指し、質の高い、思いやりのある医療サービスを提供する。

【基 本 方 針】

- 1 患者の皆様の安全と権利を守ります。
- 2 地域医療機関との連携を推進します。
- 3 救急医療の充実に努めます。
- 4 研修や教育を積極的に行います。
- 5 働きがいのある職場を作ります。

緩和ケア病棟 カフェの様子



今号の内容

- ・新任医師紹介 人工透析センター長就任のご挨拶 寺島 慶明 (2)
- ・令和6年度地域医療介護連携科実績報告 地域医療介護連携科長 林 栄一 (3)
- ・介護老人保健施設とかち 施設紹介 事業課長 飯沼 孝章 (4)

新任医師紹介



循環器内科

専門分野：循環器

てらしま よしあき
寺島 慶明

平成14年3月 札幌医科大学医学部 卒業
前勤務先 帯広厚生病院 循環器内科
令和7年9月 帯広第一病院 着任

1 循環器を選んだ理由

診断からカテーテルを含めた治療まで一通りできるからです。

2 当院の印象

帯広の中で貴重な二次病院という形でたくさんの患者さんを受け入れている印象です。

3 当院でやりたいことは？

循環器の治療と透析患者さんのコントロールなどです。

4 これからの抱負

早く皆さんに信頼してもらえるように一生懸命頑張っていきたいと思います。

5 地域の先生方へ一言

十勝全体で盛り上げていくために一生懸命頑張りますので、患者さんをどうぞご紹介ください。

人工透析センター長就任のご挨拶

このたび人工透析室センター長を拝命いたしました寺島です。

札幌医大を2002年に卒業、循環器科として心臓及び腎臓を中心に診療し、透析医療にも長年携わっておりました。生まれは大樹町ですが、小学3年より帯広で育ち、医師として経験を積んだ後、2009年から帯広に戻ってまいりました。育てていただいた地域に少しでも恩返しできるよう、医療を通じ還元したいと考えております。

透析治療は患者様の生活を支える大切な医療であり、私たちは安全・安心を第一に提供する責任があります。患者様一人ひとりの声に耳を傾け、看護師・技師・薬剤師などスタッフ全員が協力し合い、より質の高い透析医療を実現してまいります。

また、地域の皆様から信頼頂ける施設となれるよう、誠実で温かい医療を心がけてまいります。明るく風通しのよい職場を築き、スタッフが互いに学び成長できる環境づくりにも努めてまいります。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

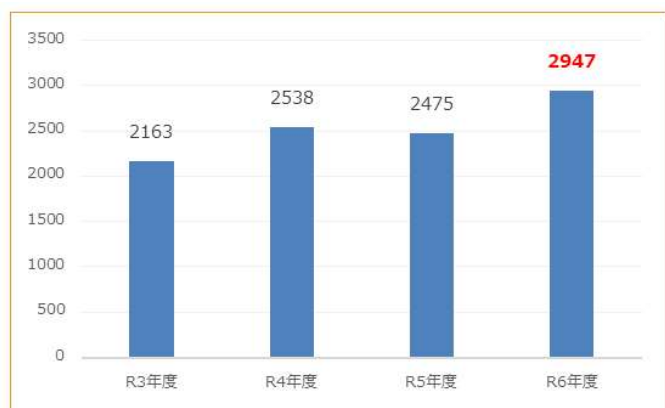


令和6年度地域医療介護連携科実績報告

地域医療介護連携科長 林 栄一

地域の先生方、関係機関の皆様方には平素より大変お世話になっております。また日頃は多くの患者様をご紹介頂き、誠にありがとうございます。昨年度の地域医療連携室実績をご報告させていただきます。

表1



1 「紹介件数」

当院への紹介状況の推移を示したものが、表1となります。令和3年度からの推移となりますが、院内クラスターが大きく影響し減少がみられたものの、令和4年度以降は徐々に増加しております。

当院では特に消化器領域に力を入れており、肝胆膵外科の高難度手術にも対応できる体制を整えておりますので、お困りの症例など御座いましたら是非ご紹介をお願い致します。

表2



2 「逆紹介件数」

表2は逆紹介患者数の推移となります。青色のグラフが紹介元の先生へお戻した件数、橙色のグラフが専門医への紹介件数となります。こちらは例年との大きな差はない状況にあります。

当院では患者様の状態が落ち着き次第、紹介元の先生のところへお戻り頂くことを原則としておりますが、病状的に難しい場合には専門医への紹介や、療養目的の転院、施設等のご相談もさせて頂いております。

表3



3 「紹介に伴う入院及び外来件数」

表3は紹介患者様の入院・外来の割合を示しています。令和3年度・4年度は、コロナ禍での入院制限などが影響し減少がみられましたが、昨年度ご紹介によって入院に繋がったのは1,234件で、全体の紹介件数の42%となっております。

今年度もこれまで以上にスムーズな受診・検査予約に努めてまいります。引き続き当院地域医療連携室をご利用頂けますようお願い申し上げます。

介護老人保健施設とかち 施設紹介

事業課長 飯沼 孝章



当施設は音更町に位置する介護老人保健施設です。長期入所・短期入所に加え、通所リハビリや訪問リハビリなど幅広いサービスを提供し、ご利用者のご家族の生活を支えています。介護老人保健施設とかちは、退院後から在宅復帰や次の施設につなぐ「中間施設」としての役割が広く知られていますが、私たちはその機能にとどまらず、介護や暮らしで困ったときに、まず相談していただける拠点でありたいと考えています。施設や法人内のサービスだけでなく、公的制度や地域の資源も含めて最適な方法をご提案し、一人ひとりに合わせた支援を行っています。法人理念である「患者・住民・地域から頼りにされる法人」を胸に、これからも地域に根ざし、皆さまから信頼される施設づくりに努めてまいります。

公益財団法人北海道医療団

介護老人保健施設とかち

〒080-0318 音更町緑陽台南区2番地6



運営理念

- 1 私たちは地域に根ざした施設として住民のニーズに応えるよう努めます。
- 2 利用者様の意思を尊重し、その人らしく生きることができるよう各職種が一体となって支援します。
- 3 利用者様の在宅復帰、在宅生活継続を常に意識し、リハビリテーションを中心としたチームケアを行います。
- 4 利用者様との信頼関係を大切に、利用者様・ご家族・職員の笑顔があふれる施設を目指します。



発行 公益財団法人北海道医療団 帯広第一病院 地域医療介護連携科

〒080-0014 帯広市西4条南15丁目17番地3

TEL 0155-25-3121 (病院代表) / 0120-558-091 (連携科直通)

FAX 0155-27-0248 (連携科専用) e-mail renkei@zhi.or.jp

